

# 現代の暮らしに欠かせない「機能」で 社会に貢献。荒川化学工業の製品


## さまざまな機能で暮らしを快適で便利に

豊かで便利な暮らしの中では、目立たないながら、数多くの素材や添加剤が活躍しています。荒川化学工業が手がけているさまざまな製品もまた、現代の社会になくてはならないものばかり。これまで長年にわたって、天然樹脂であるロジン(松やにの蒸溜物)の特徴を活かして、人々の暮らしを支えてきました。また、近年はロジン以外の原料に基づく機能性材料にも力を入れていて、より便利で、しかも環境にやさしい製品を社会にお届けしています。

荒川の製品種  …ロジン使用製品

|                 |   |   |
|-----------------|---|---|
| <b>丈夫にする</b>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>紙の繊維をつなぎ、濡れても破れにくい紙(ティッシュ)をつくります</li> <li>車などの表面に塗られた塗料を丈夫に長持ちさせます</li> </ul>                    | <b>紙力増強剤<br/>塗料用樹脂</b>                      |
| <b>くっきり・鮮やか</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>紙の繊維の中に入り込み、インキがにじむのを防ぎきれいに見せます</li> <li>インキがしっかり紙について、色鮮やかな印刷ができます</li> </ul>                   | <b>サイズ剤(紙のにじみ止め)<br/>印刷インキ用樹脂</b>           |
| <b>保護する</b>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>液晶画面(携帯電話、パソコン)が傷つかないように保護しています</li> <li>鉄板が錆びないように保護し、しっかりガードします</li> </ul>                     | <b>ディスプレイ・コーティング剤<br/>塗料用樹脂</b>             |
| <b>きれいにする</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>精密電子部品の信頼性を確保するためには、洗浄工程が重要であり、ノンフロンで環境に優しい洗浄剤です</li> </ul>                                      | <b>電子部品洗浄剤</b>                              |
| <b>伸びる</b>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>チューインガムの噛み心地を良くし、風船ガムを伸びやすくします</li> <li>合成ゴムを作る時に使い、できた合成ゴムの特性を高めます</li> </ul>                   | <b>チューインガムの添加剤<br/>タイヤの合成ゴムの添加剤</b>         |
| <b>くっつく・剥がす</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>電子部品を接合する環境に優しいはんだです</li> <li>粘着・接着剤に欠かせない、粘着性を与えます</li> <li>剥離紙の離型剤としてラベルやシールに欠かせません</li> </ul> | <b>脱鉛のクリームはんだ<br/>接着剤の粘着付与剤<br/>剥離紙用離型剤</b> |

**ロジンとは?** ロジン(rosin)は、松やにを蒸溜してつくる天然樹脂の一種。粘着性や油性、密着性などの多様な性質を持っています。そのため、接着剤や塗料、製紙用薬品、印刷用インキ、ワニスなどの原料として幅広く用いられています。近年は電子機器の部品の製造時にも欠かせない素材となっています。



**安定供給という使命**  
**現状の体制に甘んじることなく、万一の際に向けた取り組みを強化しています**

当社製品は社会に広く浸透しており、常に安定供給という社会的責任を担っています。そこで、原材料の調達から製造、納入に至るまで、独自のサプライチェーンマネジメントシステムを構築し、モノの流れの的確な把握に努めています。また、主要製品については生産拠点を分散するなど、リスクの低減を図りつつ、安定供給体制の強化を図っています。さらに、各事業部と連携して、安全・環境対策、技術の開発、原料の安定調達を進めています。

東日本大震災では、万一に対する備えが機能し、地震発生直後に対策本部を立ち上げ、全社員が一致団結して被災地の救助と支援をおこないました。今後は現体制に満足することなく、各種管理システムの充実、PDCAサイクルの強化などを図るとともに、事業継続計画(BCP)についても策定中であり、今回の震災を活かして内容の充実を図っていきます。

執行役員 生産統轄部 西川 学 